

横浜市民第一主義!

36歳・3児のパパ

元甲子園球児

経営のプロ

1 けずる

ムダな支出の徹底削除

- 市長報酬カット(ボーナスゼロ、退職金ゼロ)
- 聖域なき歳出改革:無駄な支出を徹底削除
- 選挙コストの削減:市長選の時期を地方選に合わせる

2 増やす

1000億円の経済政策

- 宿泊税の導入:インバウンド収益の最大化
- 横浜証券取引所の創設:スタートアップ気運の醸成
- 営業局の創設:市内アセットの徹底活用

3 投資する

未来をつくるこどもたちへ

- ビジネス教育の導入:教室から、未来の起業家を。
社会とつながり職業観を醸成
- あたたかくて美味しい給食を:自校調理or親子方式に段階的移行
- ボール遊び場の拡充:壁あてやボール遊びができる場所を整備

横浜市は、5年後に約500億円の歳入不足が生じます。このままでは、増税をするか、行政サービスの削減をするか、迫られています。

閉塞感漂う横浜に、福山敦士が新たな道筋を示します。

プロフィール:平成元年生まれ、横浜市出身。鴨志田第一小学校、鴨志田中学校卒業。慶應義塾高校野球部、慶應義塾大学 環境学部卒業。新卒でサイバーエージェントに入社、グループ会社の取締役役に就任。2016年独立起業、株式会社レーザービームを創業。上場企業へのM&Aを4回実行。上場企業の経営後、プロ野球独立リーグ香川オリーブガイナース球団の代表取締役社長に就任。「学問をつくる」活動として慶應義塾高校、鎌倉学園高校などで講師(ビジネス教育)を務める。高校時代は甲子園ベスト8。著書累計15万部。



福山あつし
ふくやま